

整理番号：5-1

提言題名：取手駅前駐輪場について

【提言の要旨】

取手駅前駐輪場の事で苦情があります。無料駐輪場（国道6号線の道路の下）は、無料は有難いのですが、駅から遠すぎます。※徒歩で約10分。あそこは30年以上前から存在しますが、全く変わってません。現在の無料の自転車駐輪場に関しては、雨が降った時、ぬかるんで最悪です。しかも崖の下にあります。確認したところ「崖崩れ対策」もしてません。地震が来て地崩れが起きた場合、利用者（市民）が被害にあう可能性があります。市役所は、市民の安全を全く考えていない！何かが起こってからでは遅いのです。ただでさえ、取手市（市役所・教育委員会）の評判が悪いので、開き直って市民を利用し、人体実験をしているのでしょうか？

いじめのニュースを見ていた職場の同僚達が「取手に家を購入しようと思ったけど、娘の事を考えると、あんな中学校やいい加減な教育委員会があるのなら、やめる」と言っていました。小学生や中学生の子供がいる同僚達にとって、取手市は「信用できない街」、「子供にとって、いい加減で危険な街」というイメージしかないようです。テレビで教育委員会の態度を見て、取手市民でもないのに、子を持つ同僚達は怒っていました。

駐輪場の話に戻りますが、取手の駐輪場も藤代駅や我孫子市のように自転車とバイクを共有した駐輪場にするべきです。要は、駐輪場内に「ここは自転車、ここはバイク」と線を引き、自転車エリアとバイクエリアの間に少しスペースを広げて、分かりやすくすれば良いだけの事です。

あと駐輪場の料金ですが、我孫子市では、青空駐輪場は1年契約で、自転車が3900円、バイクが7600円でした。駐輪場は、自転車とバイク共有です。屋根付きの駐輪場は1年間で、バイクが1万2500円。取手市よりも法人税の少ない我孫子市でも、やればできたのです。サイクルステーション取手は、月額3000円と高過ぎます。サイクルステーション取手は、まだ採算が取れないと市役所職員から聞きましたが、なぜ、取手市が採算が取れないものを作ったのか、取手市役所は無計画すぎます。しかもサイクルステーション取手の建設資金は、市民の税金ですよ？ 市民の税金で作っておいて採算が取れない？「ふざけるな！」って言いたいです。我孫子市民だったら、市役所に苦情の電話が殺到してますよ。

私の友人は、我孫子市で有料の駐輪場を作ることが決まった時、我孫子市役所に駐輪場の料金の件で苦情を言いに行きました。取手市は、市民の税金を「サイクルステーション取手」というおもちゃに使いましたが、市民を馬鹿にしてませんか？

サイクルステーション取手は、はっきり言って、市営の意味が全くありません。サイクルステーション取手は月額3000円、その隣にある民間の駐輪場のエコプールは月額2000円。市営より民間駐輪場の方が安いなんて聞いたことはありません。

今、西口は区画整理をしていますが、そこに自転車&バイク共有の駐輪場を作る予定はないのですか？ 一番駐輪場に適した場所には、なんの役に立たない「取手ウェルネスプラザ」がありますが、いっそのこと取り壊し、大きな駐輪場をつくるべきだと思います。「取手ウェルネスプラザ」の場所と大きな駐輪場に拘る意味は下記の理由からです。

(1) 取手駅東口には駐輪場が少ない。

(2) 駐輪場が少ない東口に住んでいる人達も利用できるようにするために大きな駐輪場が必要。

(3) 西口、東口に住んでる人達が共通して利用しやすい場所が「取手ウェルネスプラザ」のある場所。

運動で流す汗、駅まで自転車に乗り職場で家族のために一生懸命働いてる人の汗、取手駅で下車し自転車で取手市内の職場（キヤノンなど）まで通い一生懸命働いてる人の汗。運動の汗と一生懸命働いてる人の汗、どちらが大切か分かりますよね。運動の汗は、場所なんて関係ないですから。

みんな、働いたお金から税金（市・県民税&所得税）を払っているのです。その他、法人県民税・事業税・地方事業税、自動車税・自動車取得税、軽油引取税、県民税配当割、株式等譲渡所得割税、利子割税、ゴルフ場利用税、不動産取得税など、いろんな税金を市・県に払っているのです。

「取手ウェルネスプラザ」は、違う場所でも良いはずですが。雪が降った時の事を考慮に入れた場合「取手ウェルネスプラザ」付近に駐輪場があれば、ペDESTリアンデッキを通り、取手駅に行く事ができます。取手駅周辺は、くぼんでいるため坂が多く、毎年雪が降った時に転んでけがをする市民&利用者が必ずいますが、「取手ウェルネスプラザ」付近に駐輪場を作れば、ペDESTリアンデッキを通るため、かなり解消されると思います。

いろいろ書きましたが、もっと市民の事を考えて頂き、税金を市民・法人（市内の企業）のために考えて使ってください。まずは、駐輪場。

（50代 男性 平成30年5月受付）

【回答の要旨】

（回答1）

国道6号高架下の無料駐輪場ですが、ご指摘のとおり駅まで離れておりますが、現状では同じ程度の敷地が駅周辺に無く、また大型バイクを停めることができることから、今後も無料駐輪場として利用してまいります。

また、取手駅西口の新町無料駐輪場についても継続して利用してまいります。土砂災害の恐れのある特別警戒区域・警戒区域には指定されておりません。

なお、サイクルステーション取手、取手駅東第2自転車駐車をはじめ、取手市営の有料・無料駐輪場は、通勤・通学・買物等における市民の利便性の向上と駅周辺・中心市街地等の

放置自転車を防止し、安全を確保することを目的としています。

利用料金も含め、取手駅周辺の駐輪場の課題については、今後も研究してまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

(安全安心対策課 平成 30 年 5 月回答)

(回答 2)

「サイクルステーションとりで」は、平成 26 年度に区画整理地内 3 箇所の駐輪場と統廃合を行い整備した施設です。

統合以前の駐輪場の中には、雨が降れば自転車が濡れてしまい利用者の皆様にご不便をお掛けすることがございましたが、「サイクルステーションとりで」は取手駅西口ペデストリアンデッキから延伸された歩行者デッキと接続されたことにより、雨の日でも安全で快適に、そしてより短時間で駅へアクセスできる駅直結施設となっております。

また、敷地を有効活用できる立体式の駐輪場とすることで、より多くの収容台数（自転車 593 台、原動機付き自転車 80 台、計 673 台）を確保でき、さらに一部を機械収納式とすることで迅速な収納と高い防犯性を実現させるなど、さまざまなニーズに対応した、多くの皆様にご利用いただける施設となっておりますので、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

(中心市街地整備課 平成 30 年 5 月回答)